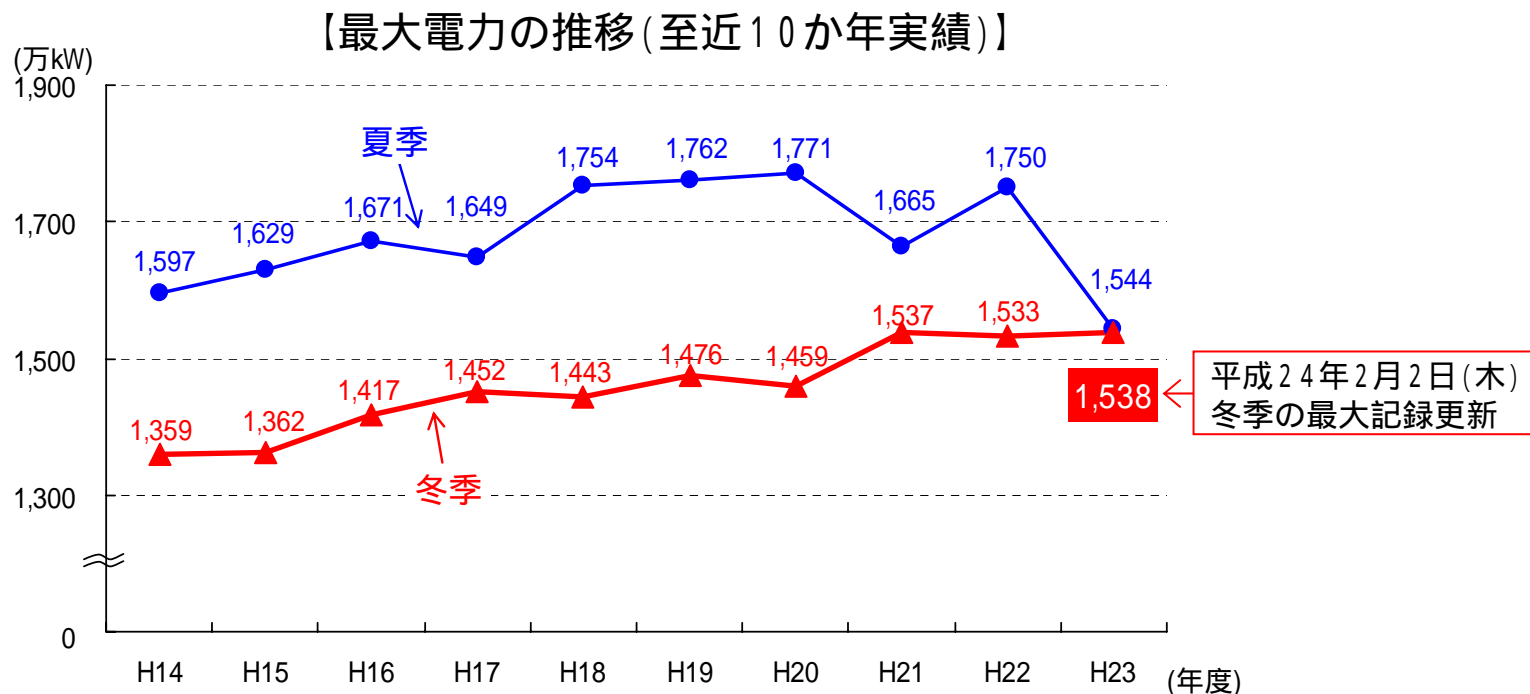


今冬の電力需給状況

参考資料

(1) 電力需要の実績

- 今冬は、冬型の気圧配置が強く、寒気の影響により、12月から2月にかけて、3か月連続で冬の月平均気温が平年を下回るなど、非常に厳しい寒さとなりました。
- 特に、2月2日(木)は、寒波により九州全域で記録的な寒さに見舞われ、節電の影響もありましたが、最大電力が1,538万kWを記録し、過去の冬季最大電力の記録を更新しました。

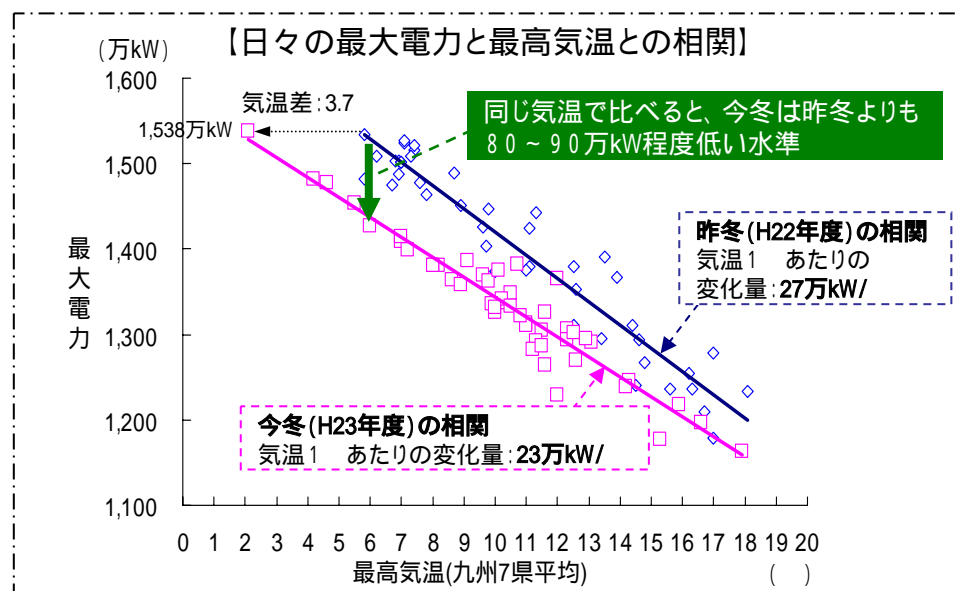


今冬の電力需給状況

(2) 節電の効果

- 今冬の最大電力は、昨冬に比べると + 5 万kW増加しました。この内訳として、
 - ・ + 85 万kW程度が、昨冬よりも気温が低かったことによる電力需要の増加
 - ・ 80 万kW程度 (5 %程度) が、主に、一般のご家庭・企業・自治体等のお客さまが、広く節電に取り組んでいただいた効果とと考えております。

	今冬 [H24/2/2(木)19時]	昨冬 [H23/1/31(月)19時]	前年差
時間最大電力 (万kW)	1,538	1,533	+ 5
最高気温 ()	2.1	5.8	3.7



気温の影響: + 85 万kW程度

- ・ 今冬の気温と最大電力の関係(左下図のピンクの直線)から、気温が1 下がると、最大電力が23 万kW増加。
- ・ 今冬は昨冬に比べ、時間最大電力が発生した最高気温が3.7 低い。
- ・ 以上により、気温の影響は+ 85 万kW程度 (= 23万kW / 0.27 × 3.7) となります。

節電等の影響: 80 万kW程度 (5 %程度)

上記以外の要因であり、節電等の影響と考えられます。

今冬の電力需給状況

(3) 電力需給の実績

- 今冬は、寒波の襲来による電力需要が急増した2月2日や、新大分発電所が緊急停止した2月3日を除けば、お客さまの節電へのご協力もあり、期間を通して概ね10%以上の予備率を確保しました。

【電力需要と供給力の推移(発電端)】

